

# 大腸癌全国登録委員会議事録

日時 第 87 回大腸癌研究会・2017 年 7 月 6 日(木) 10 時～11 時  
場所 四日市都ホテル 3F 朝明(西)

## 議題

参加者 浅野(あさのクリニック), 石黒, 山内(医科歯科), 石原(国際医療福祉大),  
小林(広尾), 小森, 木下(愛知がん), 松本(駒込) 敬称略

議題 1 前回会議議事録案の確認  
・前回議事録が確認された。

議題 2 報告事項

- 1) 登録作業の進捗状況(2007 年治療例登録状況)  
74 施設 9057 例 現在データ解析中。
- 2) 2017 年 1 月～6 月登録情報利用申請(3 件申請あり)  
高野病院 山田先生 →肛門管癌の検討  
防衛医大 梶原先生 →high risk stage II 大腸癌  
国立がん研究センター中央 北原先生 →stage II-III 症例の予後  
JCOG 症例との比較  
→全委員より承認され, データ提供した。

議題 3 討議事項

- 1) 臓器がん登録における NCD 利活用について  
NCD 登録ではデータを自由に用いることができないことから, すぐに連携はしないものの, 悉皆性を高める観点より, 今後も NCD との連携を検討していく。  
消化器外科学会データベース関連学会協議会にて各臓器がん登録と NCD との連携が話し合われている。  
NCD をがん登録に利用するパターンは 3 つ
  - i) 基本的に利用せず 年間 10 万円
  - ii) 利用し, 年に 1 回 NCD データを利用した解析を行う  
年間 50 万円
  - iii) データベースの変更を行い(がん登録など), NCD デー

タを利用した解析を行う。年間 100 万円

現状では i)にて参加する方針となったが、今後 NCD データの利活用を望む声があるようなら、ii)についても検討していくこととなった。

2) 全国登録報告書のオンライン化について

2005 年までオンライン化されたことが報告された。前回委員会にて決定された、紙媒体を中止し、オンラインのみでのデータ公開としていくことが再度確認された。

3) 英文誌に登録データの概略を投稿・掲載する件

どのような内容を投稿するか、具体的な内容につき今後協議していくこととなった。

議題 4 その他

浅野委員より、「データクリーニングや解析すべてを委員長一人で行うのは負担が大きいのではないか。」との意見があった。大腸癌全国登録における仕事の分担化については今後、委員会にて検討していくこととなった。

(文責：小林宏寿)